

平成27年度 第1回魚沼市総合計画審議会 報告書

- 日時 平成27年4月24日 19:00～20:30
- 会場 魚沼市役所小出庁舎 3階 302 会議室
- 出席者
 - (委員) 岡部清太郎、橋裕一、櫻井伸一、三友泰彦、坂大貞次、中出文平、平井正尚、星俊寛、坂井隆雄、滝沢茂、岸本達行、佐藤喜郎、小幡中治、横山正樹、椛沢一彦(欠席:布施克也)
 - (事務局) 企画政策課企画政策室
酒井課長、森山室長、吉澤係長、中村主任、諸橋主任、森山主任

◇会議録(要旨)

1 開会 15名出席、過半数に達しているため開会

2 会長挨拶

(岡部会長) 皆さん、こんばんは。新年度が始って間もないが、大変お仕事の引き継ぎ等、毎日お忙しい中、審議会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

本日は、まちづくり未来会議から報告書が市長へ提出されたということで、その内容である第二次総合計画原案について事務局から説明を受けた後に、委員の皆さんからのご意見を頂きたい。約1時間半程度、ご協力いただいて進めていきたいので、よろしくお願ひしたい。

3 議事

報告事項

第二次魚沼市総合計画案の策定状況について

- ・まちづくり未来会議から提出された第二次魚沼市総合計画原案について、事務局説明。各委員からの意見については、別紙一覧表のとおり。
- ・今後のスケジュールについて、当初は次回の審議会を9月に設定し、第二次総合計画について諮問する予定にしていたが、本日、委員からの意見が多く出されたことから、6月上旬に次回の審議会を設定し、意見についての検討結果を示すこととした。

4 その他

(事務局) 行政評価について。昨年度は、事務事業評価について外部評価の試行を総合計画審議会にお願いしたが、現在、外部評価は施策評価に移行することを検討中であり、今年度は事務事業評価についての外部評価はしないこととした。ただし内部評価の結果は公表する。

第二次魚沼市総合計画前期基本計画原案への意見等一覧

No.	章	分野	総合計画審議会委員からの意見
1	1	健康・福祉	3-3-2 ・「安心して暮らせる公共空間の整備」の中で、「交通機関や道路のバリアフリー化」とあるが、生活基盤分野に合わせて「ユニバーサルデザイン」とすべき。
2	1	生活基盤	1-2-3 ・項の見出しが「居住環境の整備」となっているが、記述の内容からは「住環境の整備」がふさわしい。「居住環境」には周りの環境も含むので、「居住環境」とするなら記述内容を修正する必要がある。
3	1	生活基盤	1-2-3 ・「居住環境の整備」で「空き家対策として…適正な管理を促す」とあるが、これから条例整備をするなら「検討する」旨の記述が必要。また移住・定住対策としても空き家条例は有効。
4	6	市民協働・自治体運営	・「前期基本計画において優先されるべき課題」に、まちづくり基本条例改正と関連付けた記述を加えるべき。
5	6	市民協働・自治体運営	6-1-1 ・男女共同参画についての記述が不足している。
6	7	前期基本計画の重点施策	7章に前期基本計画の重点施策を掲げているが、重点であれば1章の前にもってくるべきではないか。
7	7	前期基本計画の重点施策	7-3-2 ・コンパクトとか集約型のまちづくりは現在総務省で推進しているところだが、公共施設の統廃合(特に学校など)はどうすすめていくのか。こういうことは市民参加ではなかなか出てこないなので、これから詰めていってほしい。

第二次魚沼市総合計画基本構想への意見等一覧

No.	編	章	節	分野	総合計画審議会委員からの意見
1	2	1	2	将来像	「人が集い、学び、支えあう」というフレーズは良い。6つの政策分野との関連を構造的に示せるとなお良い。
2	2	1	3	主要指標	社人研の推計はほぼ的確に当たる。「鉛筆をなめる」ような根拠のない独自の推計はすべきでない。独自に推計するなら、どういう政策を打つてどの分が増加するかを示すべきである。
3	2	1	4	土地利用の方針	「・・・市全体についての総合的な土地利用の方針が必要であることから、早急に国土利用計画法に基づく『魚沼市土地利用計画』を策定することとします」とあるが、『魚沼市国土利用計画』が正しい。
4	2	2	4	産業	全般によくまとまっている印象を受けるが、若者が集まり人口減少を食い止めるためには、産業の振興、特に第一次産業の活性化が必要。
5	2	2	5	教育・文化	基本目標に「私たちが育む学びのまちづくり」とあるが、私たちが何を育むのかが書いていない。明示しないと施策を導けないのでは。
6				全般	市民参画で原案を策定したためか網羅的になっている印象だが、選択と集中や重点化という点では、専門的な見地からの検討も必要。